

いよいよグループごとのマップが出来上がり、発表にこぎつけることが出来ました。これからそれぞれのグループのテーマをさらに深く掘り下げていきます。わがまち杉並の魅力を再発見していきましょう。

報告 11月24日 公開講座「自分色を発見、発信！！～『宣伝会議』的発想から学ぶ」

12月1日の発表に先駆けてプレゼンテーションに欠かせない要素を学びました。最初に「プレゼンテーションはコミュニケーションです」と話されました。「宣伝会議」は広告の業界専門誌です。CMの宣伝効果などの事例から「すべての人に好かれようとあれもこれもと盛り込むと個性が出なくて何も覚えていただけません。」個性を売り込むキャッチコピーの重要性を話されました。

女子高生を集めて座談会をしたときに、「私とキャラかぶっている子 いないよね？」とちゃんと自分の個性・役割を自覚して売りにしています。大人はなかなかこういうの得意でなくて逆に「うちは課長が出ますがそちらも課長でしょうか？」と聞いてきます。自分の得意分野を見つけて活かすことが情報発信の基礎となります。自分ならではの特徴をブランドにしていくのです。人は一日に4,000～5,000の情報に触れるといえます。ちょっと買い物に出るだけでも電車のつり広告、お店のポスターなどが目に飛び込んできます。最近は携帯電話やインターネットなどのメディアが増え、より一層



たくさんの情報にさらされています。その中で自分が必要としている情報を見つける力が必要となってきます。広告を出す側はこうしたあふれた情報の中で目を引かなければなりません。

読者はいろいろなことに興味を持っています。これを「読者球体説」と呼び、360度の視点が必要、45度ずらすと面白い、常にいろんなところからものが見れる視点を、と新人の頃に上司に教えられたそうです。読者、視聴者など受け手の状況を意識した構成の工夫も必要なもので、漫画雑誌は山手線の一駅で一話が完結するようになっているとか、朝の情報番組は17分でニュースが一通りわかるようになっていて何度も同じニュースが流れます。これは、朝、起きて出勤するまでの時間を想定したもの、起きて顔洗ってご飯を食べて大体17分、という統計だそうです。興味深いですね。

人々の心をうまくつかんでいる人は創造力を活かしている人。情熱とユーモアがあり、他人が喜ぶことを第一に考えて行動する人だといえます。親しみが持てて「えっ！そうなの？」という楽しい驚きの提供が出来る人です。

どこの世界にも強い影響力の人（インフルエンサー）がいるもので新しいお客さんを連れてきてくれるお客さんがいます。こういう人を味方につける市場を見る力、そしてここまで、と思ったところで何が出来る進化する力が必要です。たとえば、主婦へのアプローチのために誰でも必ず使うティッシュペーパーの箱にかわいい柄の広告を入れる、ティッシュペーパーの製造者にも喜ばれ、一石二鳥だったという事例があります。

一人ひとりが存在価値を持ち、違う情報を持っています。同じ考えの人が一緒に動きましょう。角度の違う人と議論する場が大切です。買い続けてもらうための配慮をしていくことが大切です。と話され、会場の受講者とのやり取りもあり、終始和やかでした。

昨年の受講生の遠山重之さんが大人塾に関するブログを公開しています。
昨年のメンバーの自主活動の様子や、暮らし塾の内容にも触れています。
ぜひのぞいてみてください。

<http://blogs.yahoo.co.jp/toyama2267/MYBLOG/yblog.html>

いよいよ各研究テーマごとに分かれて研究、作成したマップの発表会です。各班、発表の直前まで写真を貼りなおしてみたり、段取りの相談をしたり。時間は自己申告で、発表の順番は、くじ引き。そしてタイムキーパーをつけて「え！もう終わり？」

トップバッターは子育て関係のことを調べた林さん。ご自宅のある大宮付近を中心に読み聞かせをしてくれる施設や自主グループのマップを幼児向け、小学校低学年向けと分けて分布図を作り特色を発表。ご自身も読み聞かせサークルに所属しているというだけあって一人でも情報量は十分。「話はとてもわかりやすかった」と矢郷さんも絶賛。

続いては近代建築のグループの石井さん、宮島さん、山口さん。3人がそれぞれ自分の家の周りを歩き、写真つきで素敵な洋館を紹介。取材する前は「不審者と思われたりしないかしら」と心配そうだった三人でしたが、「皆さん気持ちよく話が聞けて楽しかったです。」防空壕のあるお宅、おしゃれな庭、写真を貼り、桜の時期の花の様子まで紹介してくださいました。

続いて公園のグループ、大東さん、重久さん、逸見さん。大東さんは実際に40以上の公園に実際に出向き、実際に遊んでいる子どもの数を調べてまとめて配布し、子どもが遊ばない公園の実態を危惧していました。「お年寄りが利用できる公園になれば子どもたちを見守る地域の目も出来、安全になるのでは」との提言も。



近代建築のMAP



最後に門脇さん、矢澤さん、昨年受講生でお手伝いに入ってくださいました渡辺さんの食べ歩きグループ。「何度でも通いたいお店ってなかなかないですよ。手を広げるときりがないのでランチに絞りました。」というメンバーは阿佐ヶ谷周辺のおいしいランチのお店を出しあい、実際に食べに行っマップにしました。「今後売り出せるようなグルメマップを出したい」と門脇さん。「食べ歩きを機に阿佐ヶ谷の地域のことをもっと深く知れると良い

ですね」と矢郷さんがアドバイスされました。

当日は矢郷さんがお茶とお菓子を準備して下さり、各班のテーマについて意見交換や質問が飛び交い、和やかに楽しく交流できました。

第3ステップではさらにこのテーマを掘り下げ、さらに充実したオリジナルマップを作っていきます。楽しみですね。

発表会アンケート結果報告

発表会の際に皆さんにまち歩きをしてみたいアンケートをお願いしました。回答は以下のとおりです。ありがとうございました。

(1) 杉並について新しい発見がありましたか？

これからという感じがしました。次回くらいに発見が出来ると思います(すべてに興味あり)。それぞれ新鮮なお話があり楽しかった。グルメマップぜひ利用したい。公園のことももっと調べてみたい。素敵な住宅がたくさんあるということがわかりました。実際に行ってみようと思います。公園の調査で「お年寄りのための公園」という視点を聞いてはっとしました。お年寄りが来るにはベンチが少ないと思います。杉並が別荘地だったことは初めて知りました。他グループの発表で新しい杉並を学びました。公園の緑が少ないのはショック。公害も都内ワースト3位と聞く

楽しく見知らぬ人とお話が出来ました。自分が思ったより杉並って奥が深いのではないかと思います。
(2) トライした感想を聞かせてください。

普段何気なく暮らしていますが心を開放してアンテナを働かせているといろいろな良いことを発見できそうです。

さまざまな食堂を知って実益となった

もっと真剣に取り組もう

公園について新しい発見があった。人(子ども)が集まる公園、集まらないところなどなんとなくわかるような気がした

何とかなってよかったです。今後の展開を考えてしまいますが皆さんを巻き込む形でやれると良いと思います。

グルメにトライしたのですが短期間ではそうそう食べられない。良い経験になりました。

杉並にもこんな公園をとということをもっと探っていきたい

次回予告

第3ステップ「いざ本番！私たちのオリジナルマップづくり！」では自分の興味分野をとおして更に深く杉並の魅力を知り、地域の中で出来るオリジナルの企画を考えていきます。

オリジナルマップのテーマは下記のとおりです。最後に発表を通して他者に伝えるプレゼンテーションの能力を開拓していきます。

テーマ	内 容	メンバー
近代建築	杉並の近代建築を探訪し、屋敷の樹木のMAPづくり	石井、宮島、山口
食文化(うまいもの)	区内のうまいものの店、老舗をもっと知りたいMAP	門脇、矢澤、渡辺
公園	公園の防災は、大丈夫か？大きな公園を増やしたい！ 子ども・お年寄りの集まれる安全安心な公園MAP	大東、重久、逸見
子育て	杉並の子育て情報や子育て拠点を知りたい！ 読み聞かせ活動MAP	林、飯岡

内容

【第3ステップ】 いざ本番！私たちのオリジナルマップづくり！

日程	内 容
12/15	グループごとに研究テーマの掘り下げ
1/12	ゲスト講師による講演[予定]とMAP作業
1/26	グループ作業(まち歩きなど)
2/16	グループ作業・完成
(2/23)	作業予備日 発表の練習
2/24 13時~17時	夜コースと合同発表会

社会教育センター(担当:山下, 素)

電話/ファックス 03(3317)6621 / 03(3317)6620

✉メール yamashita-akiko@city.suginami.lg.jp もしくは hata-hiroko@city.suginami.lg.jp